

2023 年度 長浜教区教化研修計画概要

教区教化テーマ

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

-寄り合い、聞き合い、語り合い-

1 教化の方向性について

昨年度、長浜教区で様々な事業が展開された中で、①育成員研修会、②組教化推進協議会、③慶讃法要連続講座の3つの事業が特筆すべき事業として実施できました。

①「育成員研修会」 僧侶の足元(原点回帰)

住職や坊主などを対象とした事業で、寺を預かる立場にあるものが「私たちは、真宗を要として『教え・救い・寺院』を考えることが出来ているかどうか」という発題から、互いに悩みや思いを語り合うことを通して、教え・救いを真宗に求める意味について再確認し、自らの姿勢を振り返る学びとなりました。

②「組教化推進協議会」 ご門徒と共に(聞き合い、語り合い)

「僧侶が大事にしているお寺・門徒が願うお寺」をテーマに据え、僧侶や門徒の双方から見たお寺像について熱く語り合う場となりました。この協議会により、門徒の厳しい声は住職への願いの裏返しであること、僧侶と門徒との対話(聞き合い、語り合い)を通して、双方が共に歩みゆく営みの重要性が明らかになりました。

③「慶讃法要連続講座」 聞法に志す(寄合談合の精神)

コロナ感染拡大によって1年延期して開催することができました。講師からの講話を聴聞した後に、日程に座談を組み入れ、どの班も時間が足りないくらい活発に語り合いがなされました。

これら3つの事業に共通することは、聖典の学習や聞くことで終わる研修形態ではなく、参加者が互いに「聞き合い、語り合う」ことを中心とした研修でした。このように講師からの講話や取り組みの発表を聞くだけではなく、参加者が互いに感想や考えを聞き語り合うことによって、講話などを自分ごととして受け止め直し「自らの仏法に対する自身の姿勢や生活」を再確認し、真宗門徒の生き方を学ぶという大きな意義がありました。また、コロナ禍で生じた人間関係の断絶の危機を乗り越えるためにも、対面で語り合うことの重要性を再確認しました。

そこで、今年度は「いわれを聞き足元を見直す」という原点回帰と、蓮如上人の「寄合談合」の精神を想起し、あらゆる研修会や協議会において「聞き合い、語り合い」を取り入れていきたいと思います。これによって、住職同士や門徒同士、また住職と門徒との関係を深め、真に同朋社会の形成に向けて歩んでいきたいものです。

2 長浜教区での教化方針について

2024年7月に京都教区として共に歩みを始めるために、昨年度から協議検討する会議が頻繁に開かれています。また、教区としてこれまで築き上げてきた教線を確実に保持し続ける「長浜特区」として再出発できるようにしなければなりません。具体的には「長浜教化センター」(仮称)を設置し、改編後スムーズに教化事業が実施していけるよう検討を重ねています。このように、今年度は新たな教区教化・特区教化の方向性を決定づける重要な1年となります。

そこで、主に下記の点に重点を置いて事業を展開することとし、2023年度下半期(2024年1月～6月)は、新体制に移行する期間といたします。

【教化本部の取り組みの重点項目】

- ①「原点回帰」「循環する教化」を基調とした事業展開
- ② 教区改編に関する教化体制づくり
 - ・新教区・長浜特区として教化事業を推進できる体制
 - ・「長浜教化センター」への事業の移管

(1) 2023年度 教区教化委員会 事業計画

① 教化本部〔企画室〕事業計画

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
教区同朋大会	内容：未定 詳細内容は教化本部（企画室）にて企画立案していく。	寺 族 門徒・一般	長浜別院	2024/5/19	未 定
【備考】参加費：500 円 <予：500,000>					
教化委員会	教区教化の総合的な現況確認ならびに課題共有をしていく場として開催。報告・連絡・共有・交流を図り「循環する教化」の具体化を目指す。	正副議長 正副門徒会長 教化本部員 教化諸団体の長	大谷会館 講堂	【年1回】 開催予定	—
組教化 推進協議会	各組と教区教化の活動が適切に連携する方策等について協議検討を行う。併せて組間の連絡共有情報交換の場として開催する。	組教化委員長 組門徒会長 教化本部員 組教導 ほか	大谷会館 講堂	【年2回】 ①2023年12月 ②2024年4月	—
【備考】<予：90,000>±0					
組教導 連絡協議会	各組間の教化の連携と強化。ならびに情報交換の場として、共に課題を検討していくことを願いとし開催する。	組教導 教化本部員	大谷会館 講堂	【年1回】 開催予定	—
【備考】<予：40,000>±0					

② 教学教化部門 事業計画

事業名	趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
育成員研修会	テーマ：未定 現況における寺院を取り巻く諸課題を把握し共有するとともに、住職や坊守、寺族に願われていることを再確認する場として開催する。なお、知的学習ではなく僧侶・寺族としての生き方・姿勢を学び問い直す機会とする。	有教師 坊守	五村別院	未定	【発題者】 教学教化 部門委員 (本部専任委員)
【研修形態】協議会形式の研修会 →組間の交流と出会い直しを目的とし、年齢ごとのブロック別学習とする。					
教師陞補対象研修会（第1種）					
【備考】<予：60,000>±0					
事業名	趣旨・内容	対象	会場	期日	講師
これからの 仏事を考える 学習会	※2020年度から2022年度の3ヶ年計画で実施された本学習会は、新教区発足に向けた準備に資するため、今年度は休止とする。ただし、長浜特区で実施できる準備を進めていけるよう準備を行う。	—	—	—	—
<予：0>- 50,000					
得度事前学習会	得度することの意味、声明儀式作法の確認を行う。得度受式者に向けたおけいこを子どもと大人のクラスに分けて実施。最終日に得度考査を行う。	得度受式 予定者 希望者	大谷会館 講堂 他	【長式禮会】 2024/2/23 【前修習会】 2024年3月下旬	准堂衆会 ほか
【備考】参加費：5,000 円 <予：146,000>±0					

③ 講座研修部門 事業計画

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
同朋の会 推進講座	教区指定第5次の同朋の会推進講座を年3カ組にて開催。	【実施組】 第18組 第22組 敦賀組	【前期教習】 各寺院 【後期教習】 同朋会館	【前期】 6回 【後期】 1回 (2泊3日)	組との協議 を踏まえ選定
【備考】＜予：1,200,000＞±0					
組門徒会 研修会	「役員の自覚と実践」の願いのもと宗門の歴史や組織機構を学び、組門徒会員としての役割を確かめることを目的に実施。2020年度から新たに策定した「教区オリジナルテキスト」を中心に据え組門徒会員の任期満了までに6回の研修を行う。	組門徒会員	各組	【第6回】 新規会員 【第1回】	【組門徒研修講師】 京極 眞了 堀澤 俊行 春近 寛
【備考】＜予：700,000＞±0					
組門徒会研修 講師会	派遣講師事前学習会、事後協議会を開催。研修会で出された質問や運営に関する問題点や課題の共有と、情報交換を行う。	教区派遣 講 師 部門委員	大谷会館 講堂	適宜	別府 憲雄 佐藤 義成 中濱 顯文
オリジナルテキスト 策定協議会	教化委員会や組門徒会講師から出された意見や課題の抽出を行い整理し、それらを反映すべく次期組門徒会改選（2024年3月）に向けて、テキスト改訂についての協議検討を行う。				小江 義美
施設法話	教区内12介護施設における月例法話会への講師派遣。「施設担当者との懇談会」を実施予定。講師4～5名で構成する3班が、各施設を担当。なお、2023年4月からは各施設での法話会の開催回数を施設に伺い、年間2～6回に減らし、経費の一部（講師派遣1回につき2千円。 ※7回目以降は1回につき5千円）を施設に負担をいただく。	教区内 12施設	各施設	年2～12回	【施設法話講師】 有賀 尚子 七岡 朋子 河崎 顕祐 武田 晃威 達伊 優香 足利 弘樹 園 悦子 山田 孝夫 早寄 和典 森 清隆 古松 了祐 西野健太郎 藤本 勝
【備考】＜予：275,000＞～515,000					
施設法話 講師会	講師同士の連絡報告と課題共有を図るとともに、交流ならびに意見交換の場として開催する。また、部門委員と講師との協力体制のもと、本事業のより良き方向性を見出す場としていく。	施設法話 講 師	大谷会館 講堂	年1回	
【備考】＜予：22,000＞±0					

④ 青少年部門 事業計画

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
花まつり 子ども大会	釈尊誕生をご縁とし、地域児童並びに、教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催。花まつりを通して青少年教化の重要性を確認し、スタッフの学びとしての一面を大切にして取り組んでいく。	日曜学校 子ども 保護者	長浜別院	2024/5/3	—
【備考】参加費：100 円 <予：400,000>+80,000					
子ども報恩講	テーマ 「未定」 宗祖の恩徳を確かめ、地域児童並びに、教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催。	日曜学校 子ども 保護者	五村別院	2023/10/14	未 定
【備考】参加費：無料 <予：100,000>±0					
日曜学校 教化教材作成	各寺院の日曜学校で使用いただくための教化教材を調製する。(出席カード・出席シール・缶バッジ等)	日曜学校	—	—	—
【備考】<予：30,000>±0					
組青少年教化 担当者 連絡協議会	組の青少年担当者の情報交換と交流を主な目的として開催する。なお、教区と組の連携の強化も含め「花まつり子ども大会」「子ども報恩講」のスタッフに参画いただき、自らの学びを組に持ち帰り、組の青少年教化の連絡伝達なる連動し循環していく起点としたい。	部門委員 組青少年委員	大谷会館 講堂	未定	—
【備考】<予：20,000>±0					
青少年教化 スタッフ研修会	今年度は、教区内寺院で青少年教化に資する材料作りの一環で缶バッジ作成の研修会を実施する。寺院や日曜学校、組の青少年教化で利用いただけるよう準備を行う。	部門委員 組青少年委員 ともスタッフ 一般	大谷会館 講堂	2023/12/16	—
【備考】<予：30,000>-20,000					

(2) 部落差別問題協議会 事業計画

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
月例 部落差別問題 学習会	月1回実施(全12回原則第4金曜日) テキスト『部落問題学習資料集』(解放運動推進本部編集) 輪読と協議(座談)を中心に学習を行う。 【内容】 論読・座談・映画鑑賞など	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	2023/7/21 2023/8/24 2023/9/29 2023/10/27 2023/11/24 2023/12/22 2024/1/25 2024/2/29 2024/3/22 2024/4/19 2024/5/24 2024/6/27	—
【備考】 <予:0>±0					
部落差別問題 研修会	部落差別問題研修会 「同関協に関する研修会」(仮称)	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	未定	同関協関係者
教師陞補対象研修会(第1種) 【備考】 <予:150,000>±0					
組部落差別問題 研修会	昨年度に新たに策定した「開催趣旨文」より、部落差別に学ぶ姿勢ならびに、我々一人ひとりに問われている課題として学ぶ。	僧侶 門徒 一般	各組	事前 年1回 研修会 年1回	【講師】 京極 眞了 曾我 謙成 春近 寛 澤面 宣了 藤邊 匡文 中西 佳澄 雨森 慶為
【備考】 <予:560,000>±0					
組部落差別問題 講師会	組に出向された講師の連絡報告ならびに、講義の内容や諸課題について互いに深める場として行く。	組部落 差別問題 講師	大谷会館 講堂	年2回	
【備考】 <予:12,000>±0					
組部落差別問題 担当者との 連絡協議会 (全体協議会)	組の部落差別問題担当者と情報交換と交流を主な目的として開催する。なお、部落差別問題に対する共通理解と各組の課題を共有すべく、教区と組の連携の強化を目指し、担当者が教区と組を取り持っていたくことを願う。あわせて、教区⇄組⇄寺院が連動し循環することを目指す。	組部落 差別問題 担当者	大谷会館 講堂	2023/8/30	—
【備考】 <予:22,000>±0					
解放運動推進本部 との懇談会	「是旃陀羅」問題に関する学習冊子、スライドを使用した趣旨説明会 「是旃陀羅」問題の学習冊子に基づいた趣旨説明会を行い、周知徹底を図るため、右図の役職者(予定)を対象に、学習冊子とスライドを用いた趣旨説明会を行う。	部落差別問題 協議会委員 部落差別問題 研修会講師 教区教化委員 組長 組門徒会長	大谷会館 講堂	2023/10/16	杉山 寧 (企画調整局 参事) 中山 量純 (解放運動推進本部委員)

(3) 教区教化諸団体

① 教区坊守会 【備考】＜予：500,000＞±0

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
坊守学習会	未定 ※年間に2回予定	坊守 前坊守 准坊守	未定	未定	未定
両別院報恩講 加勢	長浜・五村両別院報恩講 の手伝い	坊守 前坊守 准坊守	両別院	(長浜別院) 2023/10/22 ～10/25 (五村別院) 2023/10/28 ～10/31	両別院報恩講 期間中
坊守会だより発行	活動報告	各寺院	－	編集委員 他	2024年6月
連区関係					
近畿連区坊守会 一日研修会	当番教区：山陽教区	坊守 前坊守 准坊守	ホテル モントレ 姫路	2024/3/14 ～3/15	四衢 亮 (岐阜高山教区)
連盟関係					
坊守研修会	本山主催の各研修会に参加	坊守 前坊守 准坊守	真宗本廟	2024/4/16 ～4/18	未定
若坊守研修会				2024/4/24 ～4/25	未定
坊守就任研修会	※3年に1度の開催となったため、 2023年度は開催なし。	坊守 准坊守	－	－	－

② 教区婦人会 【備考】＜予：80,000＞±0

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
1日研修	午前中に別院清掃奉仕 午後に研修会を実施	会員	長浜別院	2023/9/29	有賀 尚子 (第13組 光了寺)
婦人会研修会	改編に際し、改編後の組織の在り 方について協議する	婦人会 役員	－	2023年度内	－
両別院 報恩講への加勢	長浜・五村別院報恩講の手伝い	会員	両別院	両別院 報恩講期間	－

③ 教区推進員連絡協議会 【備考】＜予：450,000＞±0

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
推進員研修会	連区研修会の当番年度にあ たり、共同開催として実施。	推進員	ホテル&リゾート ナガハマ	2024/ 5/29～30	相馬 豊 (金沢教区 道因寺)
委員学習会	本年度休止	教区 推進協議員	大谷会館 講堂	－	－
真宗同朋の会 全国交流会	2023年度休止	推進員	－	－	－
近畿連区 推進研修会	【当番：長浜教区】 5教区持ち回りによる研修 会。	推進員	ホテル&リゾート ナガハマ	2024/ 5/29～30	相馬 豊 (金沢教区 道因寺)

④ 教区合唱団 花あかり 【備考】＜予：150,000＞±0

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
合唱練習	長浜・五村別院報恩講の音楽法要等に向けた練習を行う	団員	大谷会館講堂 五村別院大広間	未定	曾我万智子 沢田好子
両別院報恩講 音楽法要	長浜・五村別院報恩講の音楽法要に加勢	団員	長浜別院 五村別院	2023/10/24 2023/10/30	—
真宗のつどい兼 真宗教団連合滋賀支部 お待ち受け大会	真宗のつどい兼真宗教団連合滋賀支部お待ち受け大会での讃歌披露	団員	野洲文化ホール	2024/2/25	—
追弔会・法話会	物故者追弔会・聞法会	団員	未定	未定	未定
音楽交流会	市内音楽団体の団員同士の交流を深める	団員	未定	未定	—
御正忌報恩讃仰法要研修会 親鸞聖人御誕生研修会	本山主催の各研修会に参加	団員	真宗本廟	2023/11/20-21	—
				2024/3/31-4/1	
仏教音楽研修会	担当教区主催の研修会に参加	団員	未定	未定	—
花あかり 30周年記念事業	花あかり結成30年を記念した事業を開催する(コロナ禍により未開催のため)	団員	未定	未定	—
清掃奉仕	別院清掃奉仕	団員	長浜別院	未定	—
花あかり報発行	活動報告	団員	—	毎月	—

⑤ 教区准堂衆会 【備考】＜予：50,000＞±0

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
習礼	年1回 報恩講の出退作法・声明講習等	僧侶	長浜別院 五村別院	2023/10/9	鈴木 友好 (本山堂衆)
相続講員物故者追弔会	教区内各法要への出仕加勢	会員	長浜別院	2023/7/4	—
師徳奉讃法要			長浜別院 五村別院	2023/7/5 2023/8/8	
全戦没者追弔法会			長浜別院 五村別院	2023/10/22 2023/10/28	
長浜別院 報恩講 五村別院 報恩講			長浜別院 五村別院	2023/10/22-25 2023/10/28-31	
真宗本廟 御正忌報恩講	真宗本廟での各種法要への出仕加勢	会員	真宗本廟	2023/11/21-28	—
真宗本廟 春の法要			真宗本廟	2024/4/1-4	
大津別院 報恩講	京都教区との出仕交流	会員	大津別院	2023/10/14-16	—
赤野井別院 報恩講			赤野井別院	2023/10/26-28	
難波別院 報恩講	近畿連区との出仕研修	会員	難波別院	2023/10/25-28	—

(4) 両別院教化推進委員会

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
しんらん 講座	『宗祖親鸞聖人』（東本願寺出版発行）テキストに、アンケートや質疑応答による、双方向参加型（参加者と講師のやり取りに基づく）の講座を開催する。 また毎回、講座内容の要約と参加者の声をまとめ「しんらん講座だより」を発行する。	僧侶 門徒 一般	五村別院 長浜別院	全2回 2023/ ①9/4 ②11/15	訓覇 浩 (三重教区 金蔵寺)

おつとめ 講習会	参加者全員でお勤めの基本的な作法や読法を教師試験検定にも配慮した講習内容にて開催する。	僧侶 門徒 一般	大谷会館 講堂	全6回 期日未定	長浜別院列座
五日講	五村別院開基教如上人の祥月命日をご縁に勤行、別院「由来書」拝読、そしてご法話の聴聞を僧俗ともにさせていただく講をひらく。	僧侶 門徒 一般	五村別院	2023/10/5	未 定
五日会 連続講座	五村別院開基教如上人の月命日をご縁に3回の連続講座を行う。	僧侶 門徒 一般	五村別院	2024 年 3 月、4 月、 6 月の各月 の 5 日前後 に開催	未 定

【参照】

共学研修院

事業名	趣旨・内容		対象	会場	期日	講師
共学研修院	【公開講座】 年2回を予定 教師陸補対象研修会（第1種）		研修院生 一般	大谷会館 講堂	(予定) 2023/12/1 2024/5/10	黒田 進 (第14組 満立寺)
	【ゼミ演習】 テキスト『歎異抄』 院長・指導より『歎異抄』の発題・ 座談会の場を通して、担当に当たった 研修院生がゼミ演習にかかわる事前 学習（レジュメ作成）を行い、レジュ メを基にした発表・攻究の学びを 行う。		研修院生	大谷会館 講堂	月2回	【院長】 黒田 進 (第14組 満立寺) 【指導】 一色 孝 (第13組 光西寺) 澤面 宣了 (第16組 浄願寺)
	【宿泊研修会】 1年目（2023 年度）は本山研修（2 泊3日）を予定。2年目以降は長浜 での1泊研修を予定。		研修院生	同朋会館	2024/2/23 ～25	
	【研修院生】第2期生：8月募集予定					
	教師陸補対象研修会（第2種）				【備考】＜予：1,220,000＞＋20,000	
暁天講座	長浜別院	2023 年 7/2：川那部龍司、7/3：河崎 顕祐、7/4：蜂屋 良生、7/5：伊藤 真希				
	五村別院	2023 年 8/5：神坂 恵行、8/6：禿子 慈孝、8/7：堀 匠、8/8：美濃部俊道				
	【備考】教区事業費会計＜予：75,000＞±0					